

\OPEN/NUMAZU

This issue is "LIFEWARE"

2023
vol. 02
TAKE FREE

日々の生活に Originality Timeless スタイルを



店先のコミュニケーションが育む これからのライフスタイル

沼津仲見世商店街の中にある、イングレイヴァーズ オールド イングリッシュ (E.O.E) は、約30年前、コアなファンが集まるイギリスのブランドを扱うセレクトショップとしてオープン。クラシックなスーツが好きだったことから、その後、オーダースーツ専門店となり、映画好き、音楽好きといったカルチャーに即したスーツを好み、トレンドに左右されないスタイルのある人が集まる店となった。店先の、椅子とテーブルは、常連以外の一般の方が気軽に足を運ぶフラットな空間にもなっている。最近では、着なくなった洋服や不要在庫を委託販売し、モノと人の中継となるような事業をスタートさせた。店先のコミュニケーションから、スタイルのある日常をオープンに開く、これからのLIFEWAREショップに。



大手町・Engravers Old English
佐野一徳さん

OPEN NUMAZU weekendでは、まちなかで使われなくなった家具などを記憶と共に「環らせ(めぐらせ)」、地域に「還る(まわる)」取り組みを旧マルサン書店で実施している。「江戸時代、生活の中で出たもので捨てるものは何もなく、全てが循環のなかで有効利用されていた。便利な今の生活は使い捨てる時代、果たしてそれが良いのか、今回の取り組みが考えるきっかけになれば。まちなかは商業エリアなので、古いお店も新しいお店も多く、地域でたものを地域で使う循環が日常になればと考えている。」

我入道・循環ワークス 山本広気さん



KAN
KAN
MARKET
-まちなか循環マーケット-

まちが、ひらいていく。

自由に使えるベンチや椅子などが設置された滞在空間
まちにひらいた取組みや敷地を活用しての店舗など
OPEN NUMAZU weekend「music」



OPEN NUMAZU weekend



OPEN NUMAZUは、まちなかの公共空間を活用することなどで生まれる風景を「日常」へとつなげ、ヒト中心のまちなかを創り出していくプロジェクトです。

商店街や店舗前に、誰でも自由に使えるイス・テーブルの設置や出店などを行い、歩きたくなる、過ごしたくなる空間づくりを実践しています。これからのまちなかの新たな景色を一緒につくっていきませんか？

最新情報はこちら
<https://lit.link/opennumazu>



アンケートにご協力ください

INFORMATION 毎月第3週の金・土・日(12月のみ第2週)に、仲見世商店街の旧マルサン書店前の滞在空間等を活用して、出店やイベントなど、公共空間活用のトライアルを行います。

\OPEN/NUMAZU weekend 2023
8月のテーマは ライフウェア -生活を彩るもの-
8/18.fri ▶ 8/20.sun
Day time 11:00~14:00 / Night time 17:00~20:00

CONTENTS

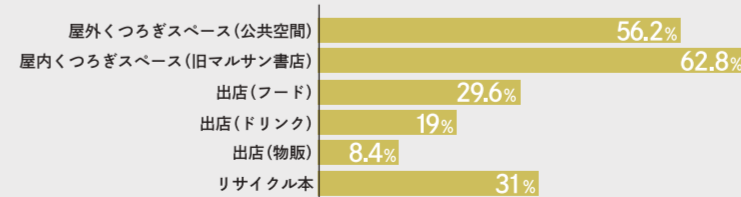
KAN KAN MARKET [旧マルサン書店内]

18.fri	11:00~14:00 [旧マルサン書店前]	ジャム工房 FIKADO(食・物販・ジャム)、Sevens Heven(飲・食)、Lu pinus candle(物・販・キャンドル)、マイガーデン(物・販・グリーン) など
	17:00~20:00 [旧マルサン書店前]	hal(物・販・生活雑貨)、AMAYADORI(物・販・生活雑貨)、アライシヨクドウ(飲・食)、TESHIO DELI(飲・食)、魚島木(飲・食)、Music & Bar Calle 5411(飲・食・LIVE/DJ) など
19.sat	11:00~14:00 [旧マルサン書店前]	古安(飲・食)、Sevens Heven(飲・食)、Lu pinus candle(物・販・キャンドル)、マイガーデン(物・販・グリーン) など
	17:00~20:00 [旧マルサン書店前]	APPLE SEED FLOWERS(物・販・花グリーン) P02 P03でインタビュー!、Swing Coffee Stand(ドリンク)、OTHERS(物・販・花グリーン) など
20.sun	11:00~14:00 [旧マルサン書店前]	ジャム工房 FIKADO(食・物販・ジャム)、DAIKU COFFEE(ドリンク)、クロネコ文具店(物・販・文具)、iro to ori(物・販・ワークショップ) など
	17:00~20:00 [仲見世パーク2前]	RAZZMATAZZ vintage clothing (物・販・古着)、futatabi(物・販・古着)、Cotton Club(物・販・雑貨)、MEMENTO(物・販・ドライフラワー) など

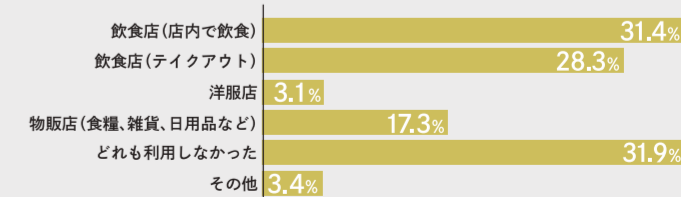
* 詳細はInstagram、facebookをご確認ください

前回までのOPEN NUMAZUを検証!

OPEN NUMAZU 2022 ARCADEで実施したコンテンツのうち、利用したものは?



仲見世商店街の既存店舗で利用したものは?



社会実験を訪れた利用者のうち、31.4%が「飲食店(店内で飲食)」を利用し、続いて28.3%が「飲食店(テイクアウト)」、17.3%が「物販店」、13.1%が「洋服店」を利用していることから、今回の社会実験が地域商店への集客につながっていることがわかる。

* 2022年度 OPEN NUMAZU アンケート調査結果

JOIN! OPEN NUMAZUの取り組みに興味がある方はお気軽にご連絡ください。沼津の未来を共に考える仲間を募集しています。
OPEN NUMAZU運営事務局 e-mail open.numazu@gmail.com

このタブロイドは、OPEN NUMAZUでつくる新たな風景とともに、地域のみなさんの取り組みを身近な自分ごとと感じてもらいながら、場と心と未来を共にひらいていく地域密着のフリーペーパーです。

\OPEN/NUMAZU
タブロイド 2023年 8月発行

発行：OPEN NUMAZU 運営事務局 沼津市(都市計画部 まちづくり政策課) UR都市機構中部支社(都市再生業務部 まちづくり支援課)
Special thanks: Engravers Old English・循環ワークス・APPLE SEED FLOWERS
お問合せ：OPEN NUMAZU運営事務局 e-mail open.numazu@gmail.com

生活の中の
グリーンがもたらす
まちの潤い・心の豊かさ

太陽を浴び、風にふかれ、雨にあたり、時には枯れることもあり、自然のままの姿が見られる屋外にあるグリーンは、気取らず、みんなのものという感覚がある。大昔から、人は木を囲い木に集まってきた。小さい鉢植えでも、風景の中でシンボルになるのではないかと。
ハナミズキやシマトネリコなど、日本の四季のある環境に合った種類を選べば、手をかけずとも育てやすい。植物に必要な、水、光、風の3要素が屋外生育には揃っているの、植えっぱなしでもOK。沼津のまちなかは街路樹などの緑が多くないが、個人で育てる屋外グリーンが増えれば、日常が豊かに彩られ、もっと風景に潤いが感じられるだろう。



大岡・APPLE SEED FLOWERS
田中智大さん



MORE GREEN!!!

ここを通る“誰か”を
ほんの少し良い気分になさせてくれる

店主が店先に置いている観葉植物や季節ごとに花を咲かせ風景を彩るまちなかの鉢植えは、この場所を通りすぎる見知らずの“誰か”の気持ちを思いがけず前向きに明るく変えているかもしれない。急ぎ足をふと立ち止まらせたり、ほっこり良い気分になせたり、手入れする店主が思いもよらない人たちにまでグリーンが及んでいると思うと、良い気持ちが連鎖してまちなかが小さな幸せで溢れているように見えてくる。

近所のスーパーで苗を買ってから30年、毎年花を咲かせてくれる



店先のグリーンのお手入れは大したことはしてなくて、毎日お水をあげてるくらい

